

山梨県地球温暖化対策実行計画の概要

H26年3月

(1) 計画の目的 温室効果ガス排出抑制等の総合的かつ計画的な推進による地球温暖化の防止

(2) 計画期間 2013(H25)年度から2020(H32)年度の8年間 長期ビジョン(おおむね2050年)も視野

(3) 対象地域 山梨県全域

(4) 基準年度 2010(H22)年度

(5) 対象ガス 二酸化炭素(CO₂)、メタン(CH₄)、一酸化二窒素(N₂O)、ハイドロフルオロカーボン(HFC)、パーフルオロカーボン(PFC)、六ふっ化硫黄(SF₆)

(6) 温室効果ガス削減目標 基準年度排出量に対する目標年度排出量の削減率
(目標年度の排出量は、推計した部門別の排出量を積み上げたもの)

短期目標：2015(H27)年度

基準年度(2010(H22))比 **10%削減** (森林整備による吸収を考慮)

森林吸収については、2013年度以降の国の方針が定まっていないことから、前計画の目標値を基に暫定値として位置付け(2020年度も同様)

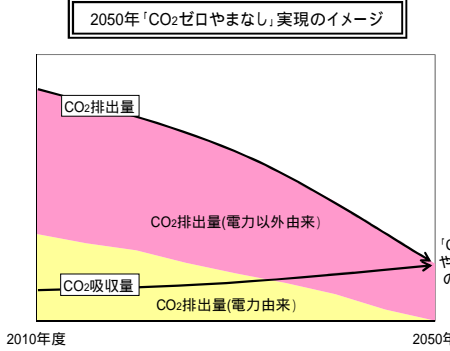
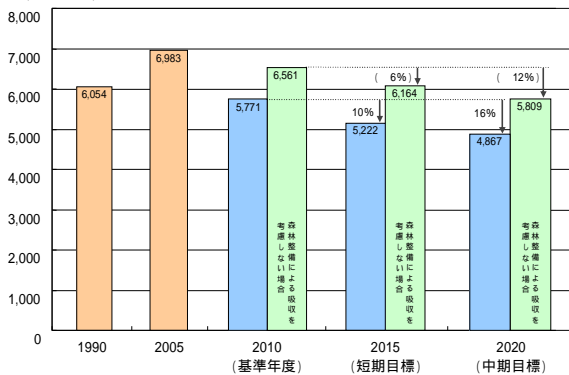
中期目標：2020(H32)年度 「CO₂ゼロやまなし」の実現に向けて達成すべき目標値

基準年度(2010(H22))比 **16%削減** (森林整備による吸収を考慮)

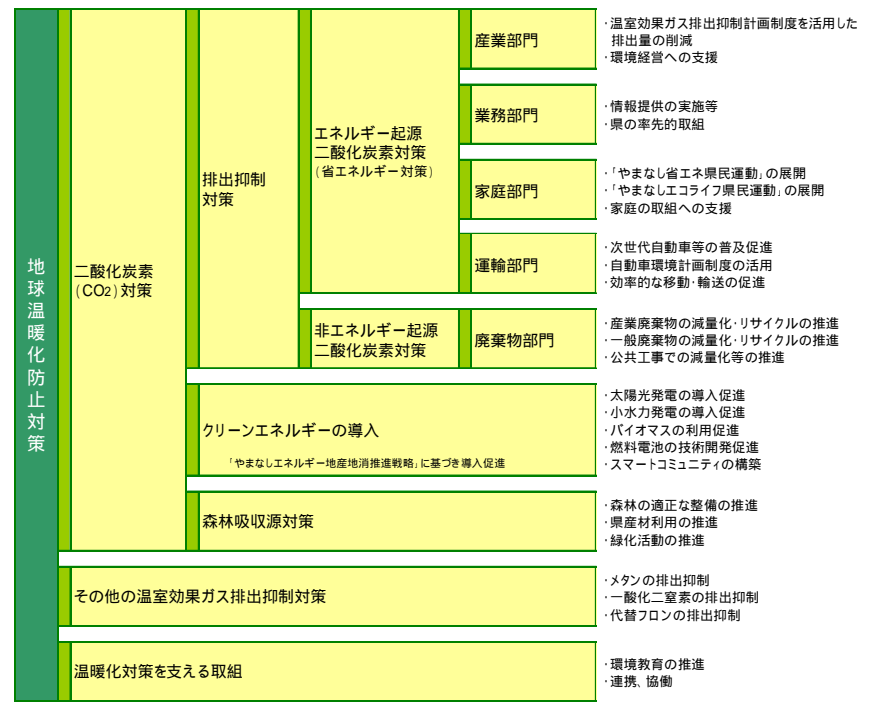
長期ビジョン：おおむね2050年

クリーンエネルギーの導入促進、省エネルギー対策、森林整備による吸収などにより、県内の二酸化炭素排出量をゼロとする「CO₂ゼロやまなし」の実現をめざす

削減目標の設定



(8) 地球温暖化対策 目標達成に向けて、次のとおり対策を分類し、部門ごとに適切な取組を推進



(7) 進行管理 PDCAサイクルによる計画の進行管理

進行管理指標

部門等	指標	2010年度実績	2015年度目標	2020年度目標
産業部門	製造業事業所の原単位CO ₂ 排出量		6%	12%
	2010年度比増減率の平均			
業務部門	床面積あたりの電力消費量(kWh/m ²)	312 kWh	274 kWh (12.2%)	261 kWh (16.3%)
家庭部門	契約口数あたりの電力消費量(kWh/契約口数)	3,543 kWh	2,918 kWh (17.6%)	2,666 kWh (24.8%)
運輸部門	自動車保有車両数(軽自動車を除く)に占める次世代自動車割合	2.8%	10.5%	19.7%
	太陽光発電導入出力	67千kW	160千kW	300千kW
クリーンエネルギー	小水力発電導入出力	9千kW	10千kW	14千kW
	水力発電導入出力	470千kW	470千kW	470千kW
	クリーンエネルギーによる電力自給率	28%	33%	39%

毎年度、各種統計資料をもとに、県内温室効果ガス排出量を推計し公表(取組の効果をより的確に評価するため、基準年度2010(H22)年度の東京電力の排出係数に固定して推計)

取組の成果を示す指標として、身近なエネルギーの状況が実感でき、かつ毎年把握可能なデータを採用

(9) 適応策の検討 適応策について、積極的に取り組むこととし、具体的に検討

適応策…自然災害、農作物の品質低下、熱中症の増加など温暖化の進行に伴うさまざまな影響に対する効果的な対処方策

分野	山梨県におけるさまざまな影響	
	傾向	影響
水環境・水資源	降水量の年ごとの変動	湯水と洪水のリスク増大
水災害	大雨の増加	河川災害 土砂災害 浸水被害 等
自然生態系	温暖化	生物や生態系の分布が北方あるいは高標高域に変化
食料	高温	コメの白未熟粒や胴割れ、収量減少 果樹の着色不良
健康	日最高気温の上昇	熱中症患者の増加
生活	高温等	熱帯夜による不快感 四季に応じた食生活や自然景観の変化 観光スポーツ、レクリエーションの機会減少 等

(10) 県の事務事業に関する実行計画

県が自らの事務事業における温室効果ガスの排出抑制や環境負荷の低減を図るため、率先的に省資源・省エネルギー等の環境保全に関する取組を推進